

# 平成31年度 予算編成方針



平成30年10月15日

# I 平成31年度予算編成のポイント

1

## 課題解決先進県を目指し、徹底したスクラップアンドビルドを通じた事業のさらなるバージョンアップを促進

- 「課題解決先進枠」を引き続き設定し、課題解決先進県を目指した事業への重点的な配分を実施。
- 「課題解決先進枠」への要求に際し、既存事業を積極的に見直し、創意工夫による事業の組み替え・バージョンアップを促進するため、30年度予算から削減した額の1.5倍（※一般財源ベース）まで要求可能。
- 既存事業のスクラップアンドビルドを徹底するため、予算要求前に全庁的な協議を実施し、その結果を当初予算要求に反映。
- 費用対効果の観点から既存事業について積極的な見直しを実施し、課題解決先進県を目指した取り組みを推進するため、経常的経費は△5%のシーリング（投資的経費は今後の国補正予算等を踏まえ調整）。

既存事業の見直し、課題解決への取り組みに対応するため「課題解決先進枠」を継続

2

## 南海トラフ地震対策・豪雨災害対策の推進

- 県民の命を守る対策、命をつなぐ対策に必要な事業を一層推進するとともに、生活を立ち上げる対策に必要な事業を実施。
- 平時から、ハード・ソフト両面で豪雨災害対策などを検討、実施することで、防災・減災対策を推進。

「南海トラフ地震対策の推進」新規、拡充分等に係る必要経費を積み上げ

3

## インフラ整備の推進と財政の健全化の両立

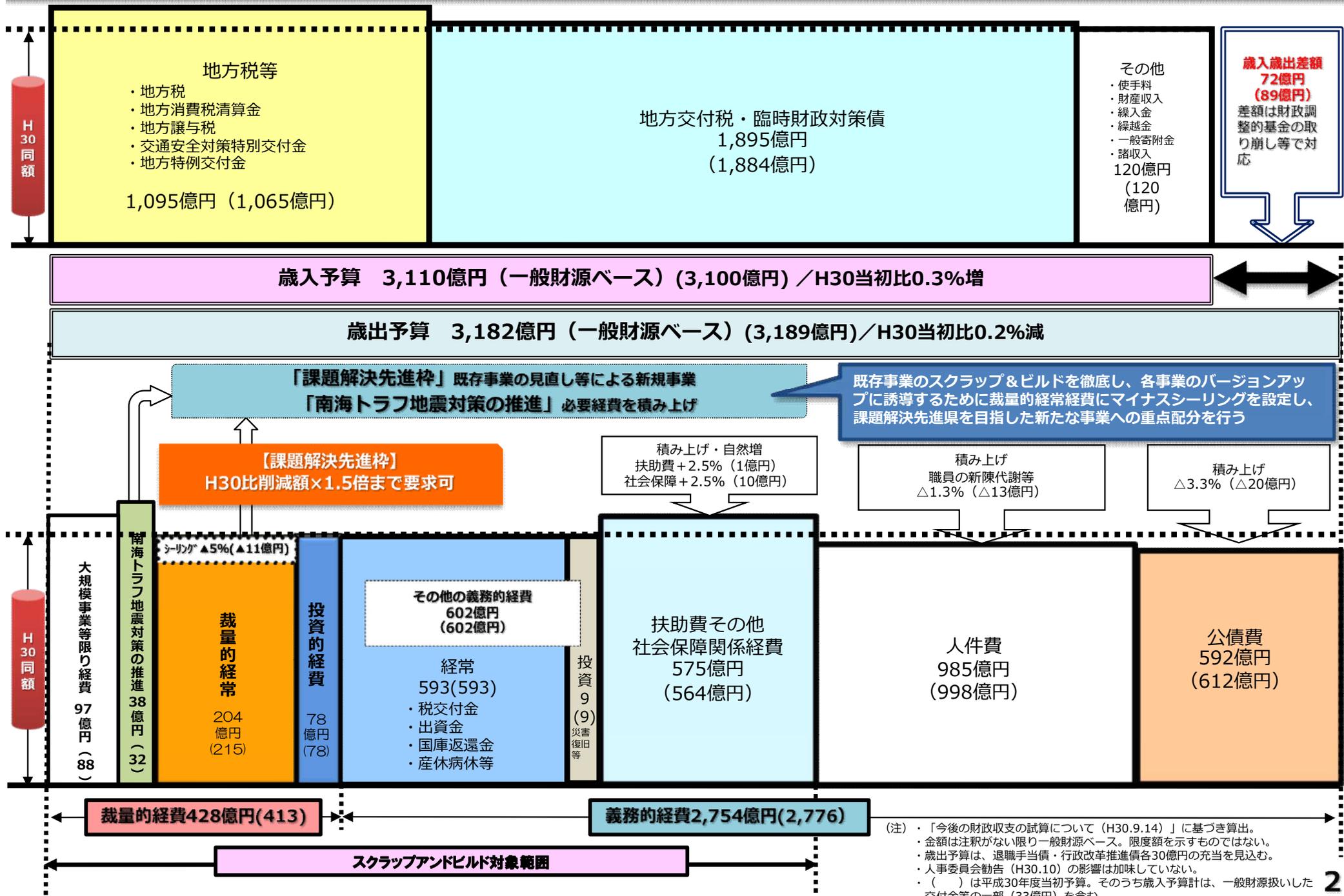
- 県民の安全・安心の確保と地域経済の活性化を目指すため、普通建設事業費の一般財源総額（地方債含む）を確保し、インフラの整備と有効活用を推進。
- 臨時財政対策債を除く県債残高の水準に留意しつつ、PDCAサイクルを通じた徹底的な事業見直しを実施。

4

## 国の動向の把握と県予算への反映

- 歳入・歳出改革の議論など、国の動向に留意し、積極的に情報収集を行い、本県への影響を見極めた上で確実に予算に反映。

# Ⅱ 予算要求フレームの考え方



# Ⅲ 予算編成の主なスケジュール（予定）

<p>平成30年</p> <p><b>10月</b></p>	<p>○ <b>15日 予算編成方針通知</b></p>	<p>全庁的なスクラップ アンドビルド協議</p>
<p><b>11月</b></p>	<p>○ 12日 予算見積書提出期限 ○ 20日 予算見積概要公表資料財政課提出期限</p>	<p>協議結果を当初予算 要求に反映</p>
<p><b>12月</b></p>	<p>○ <b>上旬 当初予算見積概要の公表</b></p>	<p>スクラップアンドビルド の状況について公表</p>
<p>平成31年</p> <p><b>1月</b></p>	<p>○ 上旬 財政課長内示 ○ 中旬 総務部長協議、総務部長内示 ○ 下旬 知事査定</p>	
<p><b>2月</b></p>	<p>○ 中旬 当初予算案記者発表</p>	